

種子屋久通信

発行：熊毛地域青少年育成推進協議会

住所：西之表市西之表 7590 番地
（熊毛支庁総務企画課内）

TEL：0997-22-0498

FAX：0997-23-1161

平成29年度 熊毛地域青少年環境づくり懇談会

この懇談会は、青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、関係業界、学校、警察、地域、関係機関・団体等が地域の青少年問題及び有害環境について情報交換を行い、相互の連携を深め、一体となった社会環境浄化活動への取組を行うものです。

12月18日（月）、熊毛支庁において「平成29年度熊毛地域青少年環境づくり懇談会」が開催され、業界関係者、学校、関係機関・団体等から19名が出席しました。

「インターネット利用に係る児童の犯罪被害等防止啓発」のDVD視聴に続いて、県青少年男女共同参画課の松村主幹兼青少年育成係長による「県内の青少年を取り巻く環境」についての講話、事務局からの立入調査の結果報告がありました。

また、出席者による意見交換では、各団体の自主的な取組が紹介され、防災無線や広報誌を利用して地域全体へ広報する必要があるなどの意見も出されました。



関係団体の様々な取組が紹介されました

ネットトラブル等の未然防止の相談役

安心ネットサポーター養成講座

子どもたちをネットトラブルから守るために！

12月16日（土）、「安心ネットサポーター養成講座」が西之表市民会館で開催され、学校教職員等23名が参加しました。事業実施団体である「NPO法人ネットポリス鹿児島」の戸高成人理事長らが講師を務め、インターネットに関する基本用語やフィルタリングの必要性、子どもが利用しているアプリの実践、「LINE利用」に起因するトラブルの現状などが紹介され、SNSのリスクを教える重要性も学びました。



安心ネットサポーターとは

サイバー空間における防犯ボランティア活動やネット社会における青少年健全育成活動のことをいう

- ① 犯罪被害防止のための教育活動
- ② 広報啓発活動
- ③ サイバー空間の浄化活動（サイバーパトロール）
- ④ 悪質な利用者（ユーザー）への指導・注意

の4つの活動を中心に取り組み、サイバー空間における規範意識の向上に貢献することが期待されます。

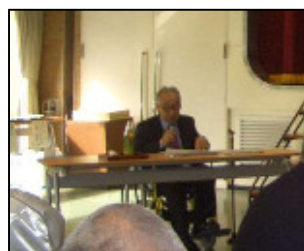
「安心ネットサポーター養成講座」テキストより

平成 29 年度「かごしま地域塾グレードアップセミナー」

テーマ 「地域に根ざした特色ある活動を継続・発展させるために」
～地域人材の活用・各種団体との連携を通して～

2月4日（日）、地域塾等の青少年育成団体の指導者や各地域で青少年育成に携わる方々を対象に「かごしま地域塾グレードアップセミナー」が開催されました。

始めに、「子ども・若者が望む参画型地域活動の支援方法を探る」と題した萩原元昭氏（群馬大学名誉教授）の講演があり、子どもたちによる「参画型」活動が地域塾活動の発展につながると教えていただきました。また、活動発表や活動紹介の他、参加者によるワークショップ（懇談）も行われ、地域ぐるみの青少年育成における課題や対策などについて語り合いました。



← 特別講演
（講師：萩原元昭氏）

↓ 地域塾活動発表



図書館ボランティア「トロ」



ひおきコンシェルジュ Jr.

鹿児島県青少年海外ふれあい事業 ～シンガポール交流コース～

この事業は、本県と関わりの深いシンガポールに鹿児島の青少年を派遣し、交流活動を通じて国際的感覚やふるさとを愛する心の醸成を図り、次代を担う青少年リーダーの育成、シンガポールとの友好親善に寄与することを目的に、9月13日（水）～20日（水）の日程で実施され、熊毛地区からは、寺田有希さん（屋久島高校2年）が、県内の青少年9名とともに参加しました。

（以下、寺田有希さんの感想です。）

「シンガポール研修に参加して」

屋久島高校2年 寺田 有希

最初は、「英語が話せるか」、「会話が続くか」、とても不安でした。最初はあまり話すことができませんでした。が、だんだん慣れてきて自分から積極的に会話することができました。

また、今回の研修では、英語を話すことよりもっと大切なことを学びました。私は、研修中



【ハイシン中学校訪問】：鹿児島県PRプレゼン、授業参加

おなかを壊してしまい、現地の方や研修メンバーなど多くの方々に助けられました。立ってないときに支えてくれたり、薬を買ってきてくれたり、消化に良い物を作ってくれたりなど、とてもたくさんの方が支えてくれました。

今回の研修で助け合うということの大切さを知り、困っている人がいたら私も助けてあげたいと思いました。研修に参加して、気づいたこともたくさんあったので、本当に良かったです。

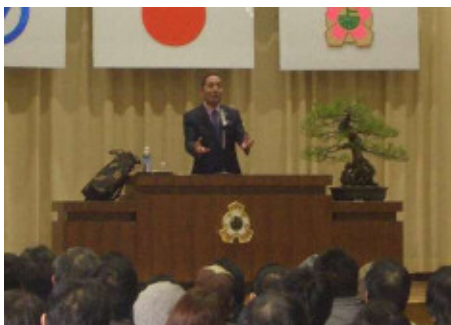
平成29年度 明るい家庭づくり実践講座

西之表市 PTA 活動研究委嘱公開講演会

- ・期日 平成29年12月9日（土）
- ・講師 里見 まさと氏（お笑いタレント）
よしもとクリエイティブ・エージェンシー
- ・演題 「戦艦大和とその乗組員」
- ・参加者 175名

講師自らが戦艦大和の当時の乗組員から聞いた話をもとに、戦争が引き起こしてしまう悲惨さ、平和の大切さを話されました。

また、講師自身の生き立ちや子育てをしてきた中で感じたこと、いじめを苦に自殺する子どもが後を絶たない事にも触れ、子どもを最後に守るのは親であるとして、家庭教育や親子の絆の大切さを熱く語ってくださいました。



南種子町家庭教育学級合同学習会

- ・期日 平成30年2月1日（木）
- ・講師 戸高 成人 氏
(NPO 法人ネットポリス鹿児島理事長)
- ・演題 「ここが大切！情報モラルの指導」
- ・参加者 51名

子どものスマートフォンやインターネット利用によるトラブルの事例をもとに、どう対処すべきか、また、ゲーム依存が子どもの発育にどう影響しているかなど、今後の家庭教育の参考になる話でした。（報告書より）



中種子町立中種子中学校立志式記念講演会

- ・期日 平成30年2月1日（木）
- ・講師 山中 亮磨 氏
(鹿児島県立中種子養護学校教諭)
- ・演題：「夢・目標に向かって～「今」できることを考える～」
- ・参加者：220名

走り高跳びの選手として、全国大会で優秀な記録を持つ山中氏が、自身の体験を紹介しながら、夢や目標に向かって努力し続けることの大切さを話されました。努力を惜しまず、支えてくれる周囲への感謝を忘れないなど、生徒たちの心に届く熱い想いが込められた講演でした。

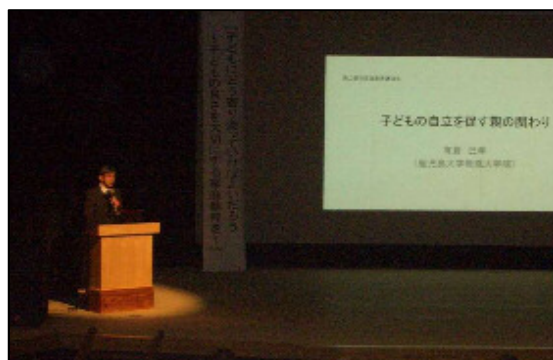


走り高跳びの実技披露

西之表市家庭教育講演会並びに母親セミナー

- ・期日 平成30年2月3日（土）
- ・講師 有倉 巳幸 氏
(鹿児島大学教職大学院教授)
- ・演題 「子どもの自立を促す親の関わり」
- ・参加者 249名

自立に向かう子どもの心の状態を理解すること、子どもの違和感にすばやく対応すること、そして何より子どもとの信頼関係の構築が、自立を促す上で重要なことであると話していただき、子どもとの関わり方を改めて考えさせられる貴重な機会でした。



育成活動等の紹介

【西之表市】

☆「郷土料理を作ろう！～種子島のお魚をおいしく食べよう～」 ふるさとまなび～隊

12月23日(土)、ふるさとまなび～隊の郷土料理作りが行われました。講師は西之表市船主会の方々に、種子島近海で捕れる魚を使って三枚おろしや魚の鱗はぎを教えて頂きました。今回使った魚は「めこん(メアジ)」と「グジダイ(あかいお)」。三枚に下ろしためこんはレモン煮やつみれ汁に、大きなグジダイは塩釜焼きにして、地魚のおいしい食べ方を学びました。

三枚おろしにチャレンジ→



←大きな魚の鱗はぎに悪戦苦闘

【中種子町】

☆「子どもたちの男女共同参画学びの広場」(ワークショップ等) 中種子町立増田小学校



1月26日(金)、中種子町立増田小学校で子どもたちが自他を尊重しながら、自己表現できるコミュニケーション能力を身につけるためのワークショップが行われました。

講師は、ワークショップデザイナーの高崎 恵氏。人にはそれぞれ個性があり、人と違うことを恐れず、思ったことはしっかり伝えていくことの大切さや、「私メッセージ(私は～と思うよ)」など相手を思いやる心を持って接することなどを学びました。

また、学校・家庭・地域が一体となって取り組むために、教職員対象のセミナーと保護者・地域住民対象のワークショップも行われました。

【南種子町】

☆「宇宙へはばたけ凧あげ大会」 南種子町公民館青少年育成部連絡協議会

1月20日(土)、南種子町の種子島宇宙センター竹崎グラウンドにおいて、「宇宙へはばたけ凧あげ大会」が開催されました。

この大会は、凧づくりを通して子ども会会員の交流を図るとともに、地域・家庭・学校の連携を深める機会として、第3土曜日の「青少年育成の日」に行われています。

競技は、個人の部、団体の部に分かれて行われ、デザインや上がり具合を審査員にアピールする姿も見られました。



みんなで作った連凧も無事に大空へ！



↑会場に設置されたのぼり旗

【屋久島町】

☆「子どもおみこし作製・パレード」 安房校区子ども会

- ・おみこし作製期間 7月～8月上旬
- ・安房夏祭りパレード 8月12日（土）
- ・秋の地区運動会パレード 11月5日（日）
- ・参加子ども会（8子ども会：13基）

永久保，船行，松峯，野首，安房如竹
恵比須，春田，牧野

子ども会の新たな体験活動の実施及び活動のマナー
り化解消をねらいに，安房校区内子ども会で「おみこ
し」を作製し，安房夏祭りや地区運動会で披露・パレ
ードを行いました。

この活動は，町子連副会長の提案により今年度初め
て実施したもので，活動日には KYT 目標を設定し，友
だち同士で工夫を凝らしながら協力して取り組みまし
た。パレードは観覧者からも好評で，次年度からは町
内全子ども会で行えるよう検討を重ねていきます。

（「ふるさとに学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組）より



～「家庭の日」入賞作品が展示されました～

期 間 平成 30 年 2 月 9 日(金)～23 日(金)
場 所 フラッセだいわ種子島店（西之表市）

「家庭の日」に関する作品募集は，心豊かな青少年を育てるために明るく円満な家庭づくりが
実践されることを願い，毎月第 3 日曜日に設定された「家庭の日」の普及・啓発活動の一環とし
て実施されました。

県内の入賞作品 83 点が西之表市で展示され，多数の方々にご覧いただきました。



「熊毛地域の入賞作品コーナー」
入賞 7 作品と優秀学校賞 1 校(全員写真)を展示



「県内入賞作品コーナー」

春の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」

平成30年3月11日（日）～4月10日（火）

「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」とは

次代の鹿児島を担う青少年が、将来に夢を持てるような、自立の精神と豊かな感性を持ち、国際的感覚に富み、ふるさとを愛する心を持った人間に成長することは県民すべての願いです。

「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」の展開を通して、鹿児島の古くからの伝統である地域で青少年を育てる気風を盛り上げ、郷土に根ざしたグローバルな人材を育成するため、家庭・学校・職場・地域等は、青少年が主体的に活動するための場や機会を確保し、地域ぐるみの青少年育成を推進します。

「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」のQ&A

（「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」手引より）

Q：この運動で目指す青少年とはどのような姿ですか？

A： 自立の精神・豊かな感性、国際的感覚、ふるさとを愛する心をそなえた青少年の育成を目指しています。

☆自立の精神をそなえた青少年とは

自ら考え、判断し、決定・実践する強い意志や、物事に積極的に取り組む自主性を持った青少年のことです。

☆豊かな感性をそなえた青少年とは

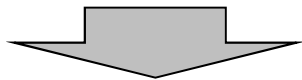
人に対する思いやり、優しさがあり、「相手を理解する心・命を大切にする心・感動する心・ふるさとを愛する心」などを持った青少年のことです。

☆国際的感覚をそなえた青少年とは

お互いの国の歴史や文化を理解・尊重し、幅広い国際的視野や感覚を持った青少年のことです。

☆ふるさとを愛する心をそなえた青少年とは

ふるさと「かごしま」の「良さを知り、愛し、興す」心を持った青少年のことです。



郷土に根ざしたグローバルな人材の育成

国際化や高度情報化の進展とともに、幅広い国際的視野や感覚、社会経済情勢の変化に的確かつ柔軟に対応し、21世紀の新しい鹿児島づくりを担う創造性豊かな人材の育成に努めます。

大人が変われば
子どもも変わる

☆ お世話になりました(^_^)

5年間、青少年育成指導員の業務に携わって参りました。学校をはじめ関係機関等への訪問や育成活動の視察・取材など、いつも温かく受け入れていただきまして、本当にありがとうございました。皆様方に賜りましたご厚情に感謝申し上げます。最後の広報誌をお届けいたします。ご高覧いただければ幸いです。

（上籠明美）